

平成 25 年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	子育て・孫育て応援 多世代・創造的遊びを実践する事業
事業主体	松本わらべ館設立準備室 代表 赤沼留美子 090-8854-3935
事業区分	主 (2) 保険、医療、福祉の充実に係る事業 関連 (3) 教育、文化の振興に係る事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	475,038円 (うち支援金: 317,000円)

事業内容

- 森のおもちゃ館
良質な木のおもちゃで遊んでもらう場を提供
- おもちゃの病院
おもちゃの無償修理を実施
- 手づくり遊び工房
毎週さまざまな工作や料理体験の場を提供
- 出張わらべ館
良質な木のおもちゃで遊べる場の出張サービス
(乳幼児関連・高齢者関連)
上記事業を、年間合計3.6回開催しました。



2013/6/1 石窯ピザづくり体験の様子



2013/8/24 積み木あそびの様子

事業効果

地域の方々に「創造的なあそび」「子育て・孫育ての楽しみ」「昔ながらの素晴らしい技を教えるよろこび生きがい・教わる楽しさ」を多くの方に提供することができました。市内での認知度も上がり、特に松本市の公的施設やイベントからのお誘いが増えた今年度でした。

- ・参加者人数 年間8.75名
- ・参加者地域 松本市・塩尻市・安曇野市・岡谷市
諏訪市・山形村・朝日村・駒ヶ根市・
長野市など県内各地と東京・神奈川・
栃木など他県からの帰省者など
- ・参加者年齢 0歳～7.0歳代のお子さん連れ家族と
お孫さん連れ
- ・講師年齢 3.0歳代から8.0歳まで幅広く

【目標・ねらい】

- 子どもたちに健全で創造的な遊びを提供する
- おじいちゃん世代が活躍できる多世代つながりの場づくり
- 松本らしいものづくり体験の場を提供する

※1 自己評価 (事業実施率) 【A】

※2 自己評価 (事業効果) 【A】

今後の取り組み

来年度は経済的に自立を試みながら上記事業を継続実施し、市民のみなさんに親しまれる場づくりを目指します。現在は市の施設(アルプス公園内建物・松本市美術館)を有償で借りて活動していますが、できれば拠点を設け一か所にて定着して活動できるよう、松本市と情報交換しながら、場所と資金の目途をつけるべく準備を引き続き進めていきます。